

コース番号:26-20-12-089-031

データ活用で進める業務連携

～クラウドとAI時代に備えた、新たな情報管理のあり方とシステム連携の仕組みについて考える～



受講料
3,300円
(税込)

講師から

最近では、安価で使い勝手が良く、中小企業でも活用できるデータ管理の仕組みが広がっています。

その一方で、スムーズにシステムを導入活用するには、基本的なデジタルデータに関する基礎知識も依然重要です。本講座ではそれらのポイントを押さえて解説します。

こんな方におすすめします！

- 自社の業務を「見える化」し、部門間の情報の壁を解消したい方
- 社外パートナー（顧客・サプライヤー）とのデータ共有による、サプライチェーン全体の効率化を目指す方
- 既存のシステムに業務データが分散し、データの加工や再入力に手間と時間が掛かっていて効率化したい方

実施日時

9月10日(木)

9:30～16:30(6時間)

会場

ポリテクセンター松本
(松本市寿北7-17-1)

対象者

中堅層、管理者層

定員

15名
(先着順。最少催行人数6名)

講師

株式会社
日本能率協会コンサルティング
外部講師 松井 淳氏

申込締切

8月18日(火)

生産性向上支援訓練のオープンコース最新情報はこちら(HP)
⇒<https://www3.jeed.go.jp/matsumoto/poly/seisan-open.html>



※受講の申込方法は裏面をご覧ください。

【主催】  独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構
Japan Organization for Employment of the Elderly, Persons with Disabilities and Job Seekers
長野支部長野職業能力開発促進センター

【共催】 諏訪商工会議所、岡谷商工会議所、下諏訪商工会議所、茅野商工会議所、松本商工会議所
安曇野市商工会、塩尻商工会議所、大町商工会議所、松本ものづくり産業支援センター

【後援】 NPO諏訪圏ものづくり推進機構、岡谷市/テクノプラザおかや、ものづくり支援センターしもすわ、
茅野市精密工業連合会、茅野・産業振興プラザ、松本機械金属工業会、中信溶接協会、
諏訪信用金庫、松本信用金庫

【訓練に関するお問い合わせ】
独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構長野支部
長野職業能力開発促進センター 松本訓練センター
ポリテクセンター松本 生産性向上人材育成支援センター
TEL 0263-58-3392 FAX 0263-58-5062

※お申し込み後の変更やキャンセルに関するお問い合わせは、裏面記載のポリテクセンター長野へご連絡願います。

コース名

データ活用で進める業務連携

コースのねらい

所有するデータを経営資源として管理し、活用することで、社内外の業務の連携を強化できることを理解する。

基本項目	主な内容	時間 (H)
1	<p>データ活用の基本</p> <p>(1) データと情報の違い 日常的に業務で使う「データ」と「情報」の違いを現場目線で解説する。「データ」は業務上、調べた事や事実などを、文字や数値、画像などで記録し、「情報」はある目的で人に伝える為に分析・評価を行なう。</p> <p>(2) 欲しい情報を得るためのデータ選別 ネットワークの進歩により情報社会が進んでことで取り扱う情報が膨大になっている。その中で必要な情報を的確に収集してデータ選別するポイントを解説し、現場に照らし合わせて考察する。</p> <p>(3) データ活用のために必要なルール データを活用するためには正確なデータであることが前提となり、効果的に利用するには用途にあったルールが必要となることを解説し、そのポイントに沿ったルール策定を実施する。</p> <p>(4) データの種類と型、入力のルール データの種類には「定性データ」「定量データ」があり、種類ごとの詳細を確認し、データの型にも文字列、数字、日付、通貨など様々あり、活用できるデータにするためにも入力の際に気を付けるべき点を解説する。</p>	1.5
2	<p>データマネジメント</p> <p>(1) データの品質管理 データマネジメントでは、これまで以上にデータ品質の重要性が認識され、データ・ウェアハウスまたはウェアハウスまたはビジネス・インテリジェンス・アプリケーションに高品質のデータを格納することは、データの品質を確保することにつながることを理解する。</p> <p>(2) データ管理のための統制 データマネジメントは、データガバナンスによって統制される対象となっており、データガバナンスはあくまでデータマネジメントの実行を監督・サポートするものであり、データマネジメントそのものではないことに注意。</p> <p>(3) データの収集と蓄積 人が入力し集めるデータだけでなく、ビッグデータ、オープンデータ、IoTなど、多様なソースから大量のデータを収集できる。収集されたデータを解析した結果から、新たな発見、価値を生み出すことを期待される。その基盤はどのように作られ、どのように関連しているのかを具体例をあげて説明する。</p> <p>(4) データの共有と連携 働き方改革や業務効率化の実現に必要な不可欠であるデータ共有の流れとポイントについて解説し、自社の課題と照らし合わせて、どう連携するのが良いか考察する。データ関係の手法や留意点についても解説する。</p>	2.0
3	<p>データ活用と業務の連携</p> <p>(1) 社内データの統合と管理 データを活用するために必要なデータ統合について抽出・複製、変換、加工、結合などを解説する。合わせて、自社の環境をイメージしながら、増加し続ける大量のデータを効率的かつセキュアに管理するポイントについても考察する。</p> <p>(2) IT技術を活用 (IoT、クラウド、ビックデータ) したデータ活用 IoT、クラウドが社会に浸透し、収集できる情報が膨大になっており、そのデータの収集にはどういうものがあるのか、そして収集するだけではなく、効果的にどう整理して、活用していくのかを説明する。自社ではどう活用できるのか演習を実施する。</p> <p>(3) データ活用による業務連携事例 データ活用の課題別に業務連携事例を紹介。クラウドサービスを利用した事例などに着目し、導入意義や利用の実態、その効果について解説する。業務連携で失敗してしまうケースに触れて、何が足りなかったのか、どうしたら良かったのかを考察する。</p>	2.5

講義内容

受講申込の手順

※令和8年度より、FAXでの申込は受け付けておりません

ポリテク松本のホームページから、「生産性向上支援訓練受講申込書」をダウンロードしてください。



必要事項を記入し、申込締切日までにポリテク長野宛て(下記送信先)電子メールで送付してください。



申込書がポリテク長野に到着後、申込担当者様に受講料支払い手続き等についてご連絡いたしますので、指示に従ってください。

受講申込書送信先 : nagano-seisan@jeed.go.jp

会場案内

ポリテクセンター松本
(松本市寿北7-17-1)

車でお越しの方は会場の
駐車場(無料)を
ご利用ください。



お問い合わせ



独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構長野支所
長野職業能力開発促進センター

ポリテクセンター長野

生産性向上人材育成支援センター

Tel 026-243-1290

ポリテク長野 生産性オープン

